



関西支社担当者・富岡代理 はウソつきだ!

本社からの問合せに対して事実無根の回答!

2月21日に発行されたJR東海労本部「業務速報」(No.1290)で明らかになっていますが、会社が「54歳原則出向」により株式会社エムティーへ強制出向させている組合員に対して、エムティーの副社長が発言している問題について、本部は本社に対して、関西支社へ確認をするよう抗議しました。2月16日、本社から本部に対して、「関西支社担当者から報告があった内容」が明らかになりました。しかし、その内容は全くの事実無根の内容でありました。

【 JR東海労本部「業務速報」(No.1290、2022年2月21日) 】より

組合：支社の出向担当者と話をしたのか。

会社：話をした。1月18日、本人に対して「出向取り消しの事実はない趣旨の話を伝えた」

組合：しかし、エムティーの幹部から本人へ「出向を取り消すようJR東海に連絡する」と言われた事実がある。だから、宙ぶらりんの心境となる。

会社：2月10日に支社の出向担当者と本人と面談している。その中でも「出向取り消しの事実はないので、安心して働いて欲しい」と伝えている。

組合：エムティー幹部から本人への発言は存在している。会社がエムティーに対して強権的に出向取り消しを潰したのではないか。

会社：そのようなことはない。会社間のことなので明らかにできない。

組合：本人が戻る希望があるなら、元職場に戻せ。

上記会社の関西支社の担当者とは富岡課長代理です。「1月18日に話をした」とありますが、強制出向となった組合員とはそのような事実はありません。1月17日から出向会社に出勤してมาすがその翌日にそのような事実が発生する根拠もありません。

会社なら「ウソ」をついてもいいのか!

また、「出向取り消しの事実はない」と伝えていると回答していますが、組合員がエムティー西村専務に確認している事実と、西村専務が会社と協議した事実を組合員に回答しています。本部は本社に対して、「ホラを吹くな! 適当なことを言うな!」と抗議しました。

地本が関西支社に対して抗議すると、「取り消しとなってることはない」と「ウソ」を詫びることなく、間違ってる事実を認めようとしませんでした。この間の「強制出向」の関西支社の担当者である富岡課長代理は、出向者、労働組合、出向先会社、本社のそれぞれに対して、「ウソ」「作り話」で塗り固めた事実を作り上げて問題をもみ消そうとしているのではないのでしょうか。

私たちは、「54歳原則出向」を利用した組織破壊を許さず、職場から働きやすい職場を求めた取り組みを労働者らしく着実に進めます!